

分野	52	水資源
施策	521	水資源の保全
<b>5年後の目標</b>		企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。

概要				
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目	決算額(円)	担当課
	<b>地下水の保全事業</b>	会計   款   項   目	—	水道施設課
		公営企業会計		
事業の概要				
地下水を将来にわたり安定した水量で使用していくため、定期的な取水設備の更新と紫外線浄水処理施設の整備を行います。				

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	地下水位測定継続				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	取水井戸の 水位測定の実施 《参考》	目標	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続
	取水井戸5本の平均静水 位 8.05m (平成26年度)	実績	取水井の水位測定				
<p>・毎月、取水井の水位測定を実施しています。平成27年度から施工しました紫外線処理装置は平成28年10月に完成し、12月より稼働開始しました。紫外線処理装置が完成したことにより、休止中でありました取水井戸を再運転し、運転取水井戸は5本から6本となりました。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・紫外線照射によりクリプトスポリジウムに代表される耐塩素性原虫類、細菌、ウイルス等を不活化することが可能であることから、細菌による地下水汚染が発生しても安心して安全な水を安定して供給することができます。
	課題等	・地下水の低下や地盤沈下、井内崩壊などの地下水障害を起こすことがないように継続して適正揚水量を守る必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当
	・地下水の保全するため水位測定を継続して行います。